

令和7年度第2回長野市放課後子ども総合プラン推進委員会
会議要旨

日 時 令和8年2月4日(水) 午前10時から午前11時30分まで
 場 所 第一庁舎7階 第一・二委員会室
 出席委員 中山委員長、竹田副委員長、押鐘委員、竹村委員、服部委員、細井委員、山口委員、横山委員、渡邊委員
 事務局出席者 島田子ども未来部長、丸山子ども未来部次長兼子ども政策課長、佐久間学校教育課長、青木子ども政策課長補佐、青沼子ども政策課係長、宮澤子ども政策課主査、小川子ども政策課主事、内田指導主事、中山指導主事、小山職員
 傍 聴 者 なし
 報道機関 2社（信濃毎日新聞社、長野市民新聞社）

発言者	内容
事務局	1 開会 委嘱書交付
事務局	2 挨拶
	3 自己紹介 委員、事務局職員
	4 委員長及び副委員長選出
事務局	5 議事 (1)放課後の体験活動について 資料1により説明
委員	《質疑応答》 色々な活動をされているが、大学生と一緒にやっているほうは参加人数が少ないようだが、定員などは設けているのか。
委員	調理などは大人数だと危険が伴うという観点から、今のところは小規模の施設を選定して行っている状況である。大規模の施設の所に関しては、今回この報告にはなかったが、12月に大豆島の子どもプラザで60数名の子どもたちを対象に製作活動を行った。やはり規模に応じて活動内容はある程度決まってくるところがある。食育などはとても面白い活動なので大規模の施設でもやりたいが、結局調理室の規模など、なかなか大人数でやるのは難しい状況があるので、定員を絞ったというよりも、その環境に見合う活動を中心に行っているというところ。

委員	<p>中条子どもプラザの参加者 17 名（長野県立大学体験活動報告）と書いてあるが、プラザという場合はプラザに登録している児童でないと参加できないのか。これは全校児童に呼び掛けてということではないのか。</p>
委員	<p>基本的には放課後子どもプランに関する取り組みとしており、学校全体を対象とはしておらず、センターやプラザの児童を対象としている。</p>
委員	<p>土曜日に（体験活動を）開催しているのは時間がかかるからなのか。時間はどのくらいかかっているのか。</p>
委員	<p>それぞれ活動によって違うが、割と短いものだと 2 時間ぐらいで終わる。食育の活動であれば食事を作って食べ、その後におやつも食べるというような状況で半日近くかかることもあるので、その時間は活動に応じて決めている。平日の放課後というのはなかなか慌ただしく、まとまった活動ができないので長期休み中の活動を中心とし、場合によっては土曜日でも試行的にやっているところである。多くの場合は長期休みの子どもたちの体験の一つの思い出ができればいいなという思いで行っている活動である。</p>
委員	<p>どれもとても楽しそうな活動で、私も参加してみたいと思うので、ぜひ我々の校区でも体験活動を開催してほしいと思うが、金銭的には結構かかっていると思うが、最初にありきで始まったことなのか。</p>
委員	<p>この活動に関しては、長野県立大学の理事長裁量経費というものがあり、地域貢献や研究推進の競争資金というものを利用している。それに応募して獲得した資金を財源に行っている活動なので、毎年財源が取れるとは限らない。今後検討していく内容にはなるが、こども財団ができたので長野県立大学と協定のようなものを結び、このような活動に関して財団でも予算などの工面をいただき、継続的に開催していきたいと考えているが、現状では、長野県立大学の予算を使って行っている。</p>
委員	<p>放課後子供教室のアンケート結果で「どんなことをしたいか」という問いに対し、絵画教室や科学実験がある。</p> <p>中学校の部活の地域移行で運動部や吹奏楽などの音楽関係はうまく移行していると思うが、理科関係、家庭科関係、絵画関係の部活をやっている学校はなかなか講師の方が見つからないということで、活動がスムーズにいつているのか心配な部分がある。ここには絵画教室や科学実験などがあり、一番下に「理科分野に興味があるので、貴重な体験をありがとう」と書いてある。私はここで理科や絵画の分野をしているのはすごく子どもにとって良いことだと思う。具体的には絵画教室や科学実</p>

	<p>験はどのような内容を実施しているのか。</p>
事務局	<p>子供教室の中で、科学実験は1回だけやっている。大きなシャボン玉を作って遊ぶことや、振り子が同期することで、3つの玉が一緒に動くなど。参加する子どもたちが興味を持てるようなことを、講師の先生にやっていただいている。時間が40分間という短い時間だが、講師の先生の工夫もあり、子どもたちは本当に大興奮だった。また、絵画についてはアドバイザーの方をお願いをして絵手紙を実施した。</p>
委員	<p>ぜひ科学や絵画など、そういった方面も充実させていくといいと思う。</p>
委員	<p>県立大学による体験活動だが、学生の数を見るとそれほど多くないという印象だが、各施設の支援員に負担がかかっているのか若干心配な部分がある。準備などの部分で、施設側の負担はどうか。</p> <p>そういった部分も含め、体験活動の事業について、可能であれば住民自治協議会等に支援を仰ぐなど、もう少し人手が必要であるならば、施設の負担を軽減させることも考えて欲しいと思う。</p> <p>また、放課後子供教室について、先ほどアドバイザーの方をお願いしているということであったが、その辺も準備段階において、人手等は大丈夫だったのか若干心配がある。</p> <p>一応これは定員を絞られた上で活動しているということだが、この放課後子供教室について、さらに市内各校に広めていく予定であるか、お聞きしたい。</p>
事務局	<p>先ほど委員長からもお話いただいた通り、予算等、準備の段階から大学や学生の皆様にお手伝いをいただいている。大学側でも規模に応じて学生の人数も決めていると思うので、準備段階から、学生の皆さんにお手伝いをいただきながら実施ができています。開催場所の規模もあるので、その範囲内で楽しく子どもたちも活動ができていると考えています。</p>
事務局	<p>放課後子供教室の件について、アドバイザーの皆様には材料の準備等は、他の人ではわからない部分もあるので、お願いをしています。</p> <p>参加人数の把握や当日の運営については、こども政策課の職員とながのこども財団の職員とで手分けをして行っている。</p> <p>施設職員に協力してもらう部分としては、放課後子供教室が終わった後、安全にセンターに戻れるように昇降口のところにお迎えに来てもらうところだけである。</p> <p>なるべく施設に負担がかからないように、アドバイザーの皆様にもご協力いただける部分をお願いをしているところ。</p>

事務局	<p>放課後子供教室について、来年度以降はどのように考えるかも含めてだと思いが、実際、色々な学校でできるような形の工夫をしていきたいと思っている。例えば令和7年度は3校で実施したが、令和6年度だと芹田小に加え、共和小、川中島小、柳原小でも行っており、どういったことをやるかということと、その施設の規模感や、学校と地域の状況などもあると思うが、なるべく色々な子どもたちに色々な体験をしていただきたいというのが、私どもの思いとしてもある。色々な学校で色々な子どもたちが体験できるような形を来年度以降も工夫していきたいと考えている。</p>
委員	<p>県立大の活動に関して言うと支援員たちがすごく大変な思いをするのではないかなというご懸念だと思うが、基本的には準備も含めて大学側で準備し、なるべくその日は子どもたちと遊びも含めて、学生の方で関わられるような形にしている。</p> <p>もちろん、当日お手伝いいただくことは多少あり、それは普段の活動と違ってくる部分と思うが、現状では施設職員に多大な負担がかかるようなことは発生していない。今、指摘されたところでいうと、逆にそういった（施設職員の負担が増える）懸念が昔はたくさんあり、自分たちの施設で実施することは大変だというような意見がたくさん出ていたようだが、活動を増やしていくと、実際に体験活動を実施して大変だったというよりは、子どもたちがすごく楽しそうにやっていたという施設がほとんどで、自分たちの施設でも実施して欲しいというような声も少しずつ増えてきている状況である。こういった活動を大々的にやるために、施設も、支援員たちに苦勞をかけているというよりは、やった結果みんな「よかった」というような形で終わる取り組みを進めているので、その辺りはご理解いただければと思う。</p>
委員	<p>母親クラブですが、全く独立した活動をしている。こども政策課から補助金をいただいて、年間通して色々な活動をしている。</p> <p>支援員の先生や、親御さんにもできるだけ負担がないようにということで活動している。</p> <p>例えばバードウォッチングやノルディック、クッキング、それから色々な講座のような形で私たちの方で全部チラシを作り、全校にも配布している。浅川小学校は児童数が少なく規模が小さい、センター、プラザも統合しているので、全校の子どもたちができるように色々な講座を実施している。地域の方たちが協力的であり、区長や、自治協も関わっており、加えて更生保護女性会の方、それから保護司も関わってくださっている。講座の内容により、それぞれの団体の方から協力参加の声をいただくこともあるので、本当に私たち母親クラブのメンバーだけではなく、色々な地域の方達との関わりも持つようにしている。</p> <p>あと、浅川地区ゆうわ祭という文化祭があり、その文化祭の時にも、</p>

ある一定の場所を借りて、例えばランタン作りなど、誰でも参加しやすく、児童の方達が興味を持って自由に参加できるような形で、色々な催し物を計画している。

年に1回なかよし広場というイベントがあるが、その人数がかなり集まってしまう。保護者や、地域の団体等の協力を得ながら色々な製作などをする。例えばスワップづくりや焼き芋づくり、キャンディレイづくりなど自分のやってみたいところにそれぞれの部署があつて、それぞれに役員がついて、子どもたちが自由に好きなところに行き、活動をするということを毎年やっている。最初はなかなか人数が集まらなかったが、回数を重ねて5年目くらいには、児童200人ぐらい来てくれるようになり、焼き芋やキャンディレイが不足するくらいに子どもたちが集まってきている。広報は年に1回チラシを配るくらいで、定員や予約もなく、当日に自由に参加できる形にし、それを全部役員たちが分担し、すべてを引き受けてくれ、子どもたちと一緒に楽しく実施している。

北部中学校を退職した先生が、その中学生のボランティアを集めてくれ、そのボランティアをみんな連れて、しおりづくりを小学生に教えてくれている。

中学2年生になると職場体験があるが、その職場体験をしているリンゴ農家の方をお願いをし、小学生にリンゴ狩りをさせてくれた。

できたものをただ取るだけだが、それがいづれ農業に興味を持って職場体験に繋がればいい。中学生になってリンゴ農家の職場体験をする際には、暑い時期に葉摘みの手伝いなどをする中で、小学生の時に食べたリンゴの味はこんなに大変な思いをして農家の方が作られているということ、職場体験の中で感じてもらえればと思って中学校と繋がるような形で実施してみた。

先生は確かに大変だと感じたことから、この母親クラブのメンバーと地域の役員だけで実施している。

毎年新しく入る役員もいるが、前の役員から引き継いで一緒に参加してくれるので、私たちもすごく助かっている。

全校児童を対象としているので「親子で一緒に参加させてほしい」といった要望も出てくるので、高学年と低学年に分け、高学年は子どもたちだけで、低学年3年生ぐらいまでは、なるべく親子で参加してくださいということをやっている。

こういった形で母親クラブは単独で、全校生徒を対象にしながら、これからも進めていこうと思っている。

委員

12月13日土曜日の芹田子どもプラザで行われたクリスマス運動会に支援員として参加させていただいた。

このときに感じた部分が2点ある。まず1点目が芹田子どもプラザの対象児童は、小学校1年生から6年生までいるので、学年ごとに運動会の説明の理解度は全く異なってしまう。

	<p>1年生の中には理解できていない児童もいたため、当日勤務している支援員もしくは補助員の方で説明を補足するということが実際にあった。運動会の実施内容については事前に館長とお話されているとは思いますが、ぜひ支援員も含めて子どもが理解できるかどうかなど、相談した方がいいのではと感じた。</p> <p>もう1点が、先ほど副委員長からもありましたが、施設職員の負担というところで、配慮が必要な児童も何名かいる中で、その対応はさすがに学生さんがされるというのは難しいので、当日職員の方で、つきっきりで行うということがあった。そこについて、運動会というと、普段と違う場のため、やはり配慮が必要な子たちの動きも不安感がかなり強くなって、その行動が少し普段と違うものが出るということもありますので、普段のお預かりの時とは違う負担がまた増えたなというところが率直な感想としてありますので、次回以降に生かしていただければと思う。</p>
委員	<p>活動に関して芹田小の方は私自身が関わった活動ではないので、どういう状況であったかというのは把握していないが、確かにそういった普段と違う活動というところで、特に環境の変化が苦手な子どもたちは、いつも通りではない状況に不安を感じたという部分でいうと、支援員に負担をかけた部分はあると感じたところ。そういったところに関して、大学生が主体になって行っている活動なので、どこまでフォローできるかはやはり難しい。特に配慮が必要な子どもたちは、普段会っていない人がフォローしようとしてもなかなか難しいところがあり、支援員には日常とは違う負担となる気がするので、しっかりと配慮や事前に相談させてもらいたいと思う。</p> <p>全体で子どもたち自体がやってよかったと多くの子どもたちが思ったかどうかというのも一方で大切な視点だと思うので、その部分と、少しケアが必要な部分をしっかりと調整しながら行いたいと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>
委員	<p>今、支援員の負担がないようにとの話だと思うが、支援員も忙しいと思うので、長期休みの時に共に作っていくというスタンスは難しいのかと今話を聞いていて思った。</p> <p>もう行っているかもしれないが、事前の打ち合わせやスタッフ配置、特性のあるお子さんに対しての対応のところも何か一緒に作るということができていれば、支援員の子どもを見守っている専門性も価値として上がるでしょうし、また、学生さんが来ることで、学生さんのエネルギーと一緒に学び合いの場になるであろうと思った時に、ぜひ何か一緒に作っていくような場が、年1回でもいいと思うので各施設であったらいいと思う。</p> <p>サポートは大学や学生に限らず、まずその地域の自治協の取り組みの</p>

	<p>中でコラボする方法はないのかと思う。地域と共に子どもを見るというのは奇麗事ばかり言っているようかもしれないが、少し感じたので意見させていただいた。</p> <p>ちなみに私は1人のアドバイザーで100人の子どもを相手にクリスマス会の依頼が来た。必要な支援員の配置などをすべてセッティングし、プログラムを見越して行った。職員会議が開かれず、当日、その場で指示をし。子どもたちは楽しかったと言って安全に終わったからよかったが、やはりこれは色々な人の力が必要なこととつくづく感じた経験から言わせていただいた。</p>
委員	<p>本当は話し合いながらやれたらというところもあるが、現実として時間などを合わせて取っていくことは難しい。確かに活動をやっている中で、もう少し事前の打ち合わせをうまくとっていくことや、それこそ館長には伝わってはいるが、支援員にあまり伝わっていないというようなことが起こることなどは課題として感じるところもあるので、これからやる中で少しでも工夫し、改善していけるようにしていきたいと思う。</p>
委員	<p>どの活動を見ても、子どもたちが本当にはまり込んでいけるような活動になっていると思う。</p> <p>調理活動などは子どもたちが本当に喜んでやれている。今、支援の必要な子どもたちの話も出ているが、その活動の中で、協力し合うことや、できないと思っていたことが可能になる場面もあると思う。1日だけで本当にその子を理解し、支援することはとても難しいと思うので、館長を通して、その子について、どのような部分で困り感があるのかというところも支援員が把握しているので、支援員に協力いただきながらやっていくことがいいと思う。</p> <p>流しそうめんの体験の中で「脚を作る部分が非常に大変だった」という感想があったが、やった経験のある方はみんなわかると思うが、うまく流れない、つまってしまう、箸ですくえない。</p> <p>そういった中で子どもたちが困っている状況ではあるが、そこで解決策を模索することを楽しんでいるというところがたくさんあるので、そんなところを子どもたちが色々体験する、経験することがとても大事な活動だと思っている。</p> <p>スイカ割りをすることや、子どもたちの調理活動の中で、チョッパーを使って材料を切ってハンバーグを作ることなどは本当に楽しい活動であると思うので、そのためにも、館長さんだけではなく支援者の方にも協力いただき、もっともっと子どもたちが楽しく、自分の特性も、それに合わせた活動ができるようにしていただければありがたいと思う。とてもいい活動で、読ませていただいて私も楽しく感じた。</p>
委員	<p>今おっしゃっていただいた部分で、活動をやっている中で、普段と違</p>

うことに戸惑うお子さんが出る一方、逆にそういう特性を持った子を心配していた施設でやらせていただいた時に、その子が普段は見られない「こんなことができるんだ」というようなことがある。例えば包丁を使って調理をする時、絶対包丁持ったら振り回すから危ないと言っていた子どもが、すごく上手に包丁を使い、それこそ普段見ている支援員たちでさえ「こういう姿があるんだ」と感ずる場にもなるというのが実情として、体感している。

今回大豆島で開催した時、人数が想定より多くなり、バタバタしていたが、支援員が来て、普段何か活動をする際、あの子達はやらない子たちだと事前に聞いていたが実際やってみると、その子たちが最後まで活動をやるという姿は見たことがなかったようで、驚いた様子だった。このように普段とは違うことをやることで、普段見えないような姿が引き出され、そのことが支援員たちもまた新たな子どもの姿を感じるきっかけになっているということもあった。もちろん一方では、本当に大変だったという子どももいるので、両面あるとは思いますが。

だからこういった活動が、本当は年に何回か繰り返してできると一番いいが、今、限られた資源の中でやっていくというところかというと、普段、色々な団体や個人など、そういった人たちを巻き込みながら、多くの施設で、体験活動が増えていくといい。その都度、課題が上がってくるかもしれないが、そこも含めて意見をいただいたように、子どもも成長していく部分と、大人が負担していく部分の両方の視点を持ちながら進めていけるといいと思うので、また皆さんからのご意見いただければと思う。

事務局

大変ありがとうございました。

非常に多くのご意見いただき、皆さん方総じては、私もそうであるがこれを見ていると、どの子どもも共通して「楽しかった」このワードが本当に嬉しいと思う。

確かに子どもたちの参加と、それを支援してくださる支援員の現場の負担というところ、バランスをとらなければいけないと思う。

できれば多くの子どもたちに参加していただいて楽しかったという笑顔が溢れるような、放課後子ども教室、及び施設にしていきたいと思っている。

今日色々な活動でパターン化される中で見つけた課題を拾い上げ、解決し、活動をどんどん広げていきたいと思っている。また地域や母親クラブなど様々なところで、学校も含めた大勢の方に協力いただき、それこそ委員長の県立大学の皆様や学生さんも含めて活動を行うことができるようにまた取り組んでいきたいと思っている。

また今日いただいた意見を踏まえ、活動をよりよいものにしていきたいと思っているのでまたご協力お願いしたい。

	(2)児童館・児童センターの遊戯室へのエアコン設置について
事務局	資料2により説明
委員	<p>《質疑応答》</p> <p>川中島児童センターにエアコンを設置していただき、ありがとうございました。</p> <p>孫が3年生になり、プラザに移ったが、たまたま夏休み中にどうしても児童センターに行きたいからと一緒にいった。ちょうどエアコンが入った後だったため、その場所を見させてもらい、一緒にバスケットボールをやっている姿を見させてもらった。</p> <p>エアコンは3台入っていて、その中で本当に喜んで活動している様子を見させてもらい、本当によかった。夏場は暑くてどこでも運動することができない状況のため、よかったなと思った。</p> <p>学校の方も、各教室全てにエアコンが入っている。学校の方は発電機を設置しなければ、エアコンが動かないというような状況があるが、学校の方でも涼しいところで子どもたちは学習している。</p> <p>センターの方も涼しい中で色々な活動ができて、とても良くなったと思う。ここでは、子どもたちが鬼ごっこもドッジボールもできるぞという、そのような思いが伝わってくる。</p> <p>施設に設けていただきとてもありがたいと思う。</p>
委員	<p>プラザは学校の施設を使っているため、エアコンは設置されているということなのか。</p> <p>あるプラザに行った時に、いくつか設置されているが、古くて効果がないと言っていたプラザの施設長もいた。その点については、これから古くなったものについて改善や更新など、そのような方向はあるのか。</p>
事務局	<p>プラザについては、学校内の施設ということもあり、学校でつけたものや、こども政策課の方でつけたもの等様々なものがある。</p> <p>年度末等に、各施設から修繕要望が上がってくる。そういった中でエアコンの状況についても報告があるため、予算も見ながら、対応していきたいと考えている。</p>
委員	<p>付け加えて、プラザのエアコンについてであるが、ながのこどもわくわくカフェの方に8月、プラザの利用者の方から連絡があり、「夏休み中プラザに子どもを通わせていたが、具合が悪くなったので、カフェにはエアコンがありますか。」という問い合わせがメールで来たことがあった。私たちは小さいところで行っているのでエアコンは完備しており、やはり、次の日からその子はこちらのカフェのほうにくるということだったが、命に関わることのため、是非またエアコン設置のご検討を</p>

<p>委員</p>	<p>お願いしたいと思う。</p> <p>エアコン設置ありがとうございます。</p> <p>ただ、今あったプラザの件であるが、芹田小の多目的棟が、エアコン等については問題ないが、非常に雨が吹き込んで床がボロボロになっている。また、子どもプラザで使っているトイレについて、やはり学校の多目的棟ということで、学校が使い、プラザが使い、また社会体育もアリーナを使っている。そのため、どこが（修繕を）対応をすべきであるのかがわからないが、女子トイレの手洗い場が2つとも詰まって駄目になっている。男子トイレも2つあるうち1個が詰まって駄目になっている。あと女子トイレの便器が2つのうち1個が詰まって、使用禁止になっている。</p> <p>施設長と話した中では、本当はこども財団に言って直していただけるのであればいいが、やはり学校施設のため、不便であっても学校の教頭先生等をお願いするしかなく、学校教育課のお金がないのか、なかなか直らないということである。そのような部分について、放課後こどもプランに関して学校施設を使っているところで、そういう部分の改善についても学校や教育委員会等とも話しながらやっていっていただきたいということ、意見をj持っている。</p> <p>また、話が前へ飛んでしまうが7月14日の資料の6ページについて。職員研修の充実ということだが、6年度と7年度の研修についてはほぼ内容が同じ。</p> <p>もう少し前向きに前進した研修等はないのか、前進していけないものなのかと思う。職員の入れ替わりがあり、また各施設等でも千差万別あるため、なかなか難しいとは思いますが、やはり研修というものを、ある程度前進していけるようにしてほしい。私も何年か前に、2年続けて見させていただいたが、本当に表面的なものが多く、もう少し実情に即した、それこそ配慮が必要な子どもに対する対応の仕方といったものを、実情に即した研修にしていただきたいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、大きく2つ、ご意見をいただいたと思う。</p> <p>確かにプラザは学校施設の一部を私どもがお借りしており、プラザ棟や空き教室に加え、授業の状況によっては理科室や図工室をお借りするなど、学校によって色々状況が違ってくるがあるが、その中で教育委員会ともその都度話をしながら進めている。また、先ほどのトイレの詰まりなど色々なお話があれば、私どもも、財団を通じて話が入ってくるため、教育委員会とその都度話をして調整している。そのような点については、従来どおり、しっかりと取り組んで参りたいと思う。</p> <p>それから2点目に研修の話が出てきた。</p> <p>ここの6ページに書かせていただいているのは主に市で実施している研修である。支援員や補助員についての人事異動等、職員の入れ替わり</p>

<p>委員</p>	<p>などがあるため、ベースとして必要な研修というものはある。子どもに対してやってはいけないことや、このような考え方を持っていなければいけないなど。</p> <p>例えば愛着の問題など、絶対に外せないベースとしての研修があると思う。そのようなことも、取り組みながら、ここには記載はないが、財団でほかにも色々な研修を組み立て、工夫して行っている。</p> <p>状況に応じた研修も必要になってくると思うので、その点については今後、ベースの部分をしっかりとしながら、研究、検討していく形を、財団も含めてやっていきたいと思っている。</p> <p>研修に関して言うと実は私も、同じことをここ数年思っているところがあった。</p> <p>ただ、今ながのこども財団で今年度から計画しているのが、基本的なことを押さえましょうというような、全体研修的なことをたくさんやっても、研修が実際の支援と繋がっていくのかという部分の乖離があると思うので、施設の方から、色々なケースを出してもらい、それについてみんなで検討していくような研修会をつくろうというものである。来年度から試行的に幾つかの施設に協力いただき、実践をみんなで考え、それを、各現場へ持ち帰る。さらにそれを1回で終わらせるのではなく、そのあとどうなったかも含め、これはオープン型研修というものであるが、そのような形で単に1回聞いてというのではなく、実際にそこで検討したものを、実際に施設で試してみる。すると、こういうところに課題があるとか、こういうところで改善していったとか、例がたくさん出るため、それを集めていこうというようなことを考えている。それを来年度からスタートさせていく計画を今立てているところなので、研修に関して言えば、特に支援員を対象とした研修は、前進できる部分もあると思っている。</p> <p>そのあたりは、今後おそらく財団の方からも、新しい研修の形として、連絡があると思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>こういった施設に関するところは本当に子どもの安心安全という一番基本的なところだと思う。そのため、各施設の方から、こういった不具合があるなど、例えば私がある施設で聞いたのは、エアコンを全部設置してはあるが、子どもが増えるとエアコンはほぼ効かない状況になっているなどの、その施設の課題があると思うので、そのような声は拾っていき、可能な範囲で早急に環境を整えていくというのが重要だと思う。ぜひよろしくお願ひしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員、欠席の報告</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>6 その他</p> <p>支援員の離職率や定着率についてどうなのか気になる。今後の議題としてあれば教えていただきたい。</p> <p>市から業務をながのこども財団やワーカーズコープながのに委託している。支援員については、それぞれ事業所をお願いして人数はしっかり確保していただいたうえで業務を実施しているところである。特に事業所の方からは、人材確保は難しい部分もあるとは思いますが、人数が足りず運営できないといった報告は受けておらず、調整をさせていただいているところ。</p> <p>委員の意見でもあるため、調べて、報告できる段階があればさせていただく。</p>
	<p>7 閉会</p>